平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　中部飼料株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　2053　URL　http://www.chubushiryo.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 平野 宏
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 西村 広司　TEL 0562-33-2102

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	33,596	10.6	333	△20.3	370	△17.4	199	△6.6
23年3月期第1四半期	30,378	△1.1	418	△67.4	448	△65.9	213	△73.9

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　111百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△85百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.68	―
23年3月期第1四半期	8.07	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	61,728	31,543	51.1	1,212.25
23年3月期	60,409	31,814	52.7	1,222.05

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　31,543百万円　23年3月期　31,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	12.4	1,000	11.1	900	2.3	450	1.9	17.02
通期	135,000	10.8	2,300	8.4	2,200	5.5	1,150	40.3	43.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	26,535,508 株	23年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	514,577 株	23年3月期	501,627 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	26,001,498 株	23年3月期1Q	26,484,683 株

※自己株式については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(24年3月期1Q 462,900株、23年3月期 450,000株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により非常に厳しい状況にあるなか、サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が回復するなど一部に持ち直しの動きがみられます。しかしながら、東京電力福島第一原発の事故による電力供給の制約や放射能汚染とこれに関連した風評被害の影響など懸念すべき問題も多く、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況となっております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、原油価格の高騰によるエタノール需要増加の見込み、低水準の在庫見通しから値を上げ、６月10日に史上最高値を更新するなど、原材料価格は上昇しました。飼料メーカー各社は４月に配合飼料価格の値上げをしたものの、原材料の高騰をカバーできておらず、まだ東日本大震災の影響が残るなか、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。また、原材料の高騰に対応するため、独自の加工技術により、とうもろこしの使用比率を引き下げて糟糠類を多用した飼料の開発に成功しました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高335億96百万円（前年同期比10.6％増）、営業利益３億33百万円（前年同期比20.3％減）、経常利益３億70百万円（前年同期比17.4％減）、四半期純利益１億99百万円（前年同期比6.6％減）となりました。

主力の畜水産飼料の平均販売価格が前年同期を上回って推移したため、売上高は、10.6％増収となりました。営業利益は、減価償却費及び貸倒引当金繰入額の増加などにより、20.3％減益となりました。四半期純利益は、前年同期に特別損失に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額がなくなり、6.6％減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（飼料）

原材料価格の上昇を受けて飼料販売価格の値上げを行ったため、売上高は、前年同期比11.7％増の283億91百万円となりました。また、東日本大震災の影響が残るなか、販売量が前年同期比0.6％増と堅調であったものの、セグメント利益は、前年同期比17.8％減の１億99百万円となりました。減益になった主な要因は、減価償却費及び貸倒引当金繰入額の増加などによるものであります。

（コンシューマー・プロダクツ）

自社開発の畜産物の取扱量増加及びペットフードの販売量増加により、売上高は、前年同期比4.0％増の37億円となりました。売上高は増加したものの、原価の高騰を販売価格に転嫁できなかったため、セグメント利益は、前年同期比34.5％減の67百万円となりました。

（不動産賃貸）

売上高は、前年同期と同額の１億６百万円、セグメント利益は、前年同期比0.8％減の75百万円となりました。

（その他）

売上高は、前年同期比7.1％増の13億98百万円、セグメント利益は、前年同期比50.5％減の61百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億18百万円増加の617億28百万円となりました。流動資産は360億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億17百万円増加しました。これは主に売上高増加に伴い受取手形及び売掛金が15億44百万円増加したことによるものであります。固定資産は256億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億99百万円減少しました。これは主に建設仮勘定が１億84百万円減少、投資有価証券が２億69百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ15億89百万円増加の301億84百万円となりました。流動負債は251億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億16百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が４億34百万円減少、未払法人税等が３億８百万円減少しましたが、短期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）が27億33百万円増加したためであります。固定負債は50億４百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億27百万円減少しました。これは主に長期借入金が２億56百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ２億70百万円減少の315億43百万円となりました。これは主に配当金の支払及び連結範囲の変更などにより、利益剰余金が１億74百万円減少したことによるものであります。

総資産が増加し、純資産が減少した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少の51.1％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月６日の決算短信で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288	1,091
受取手形及び売掛金	24,107	25,652
商品及び製品	1,811	1,831
仕掛品	684	572
原材料及び貯蔵品	4,685	5,072
その他	2,087	2,330
貸倒引当金	△350	△518
流動資産合計	34,314	36,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,822	6,765
機械装置及び運搬具（純額）	4,716	4,746
工具、器具及び備品（純額）	652	664
土地	7,137	7,148
建設仮勘定	299	115
有形固定資産合計	19,628	19,440
無形固定資産		
のれん	－	244
その他	2,199	2,178
無形固定資産合計	2,199	2,422
投資その他の資産		
投資有価証券	2,118	1,849
長期貸付金	1,456	1,308
その他	1,348	1,324
貸倒引当金	△656	△649
投資その他の資産合計	4,267	3,832
固定資産合計	26,095	25,695
資産合計	60,409	61,728

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,036	9,602
短期借入金	8,900	11,700
1年内返済予定の長期借入金	1,179	1,112
未払法人税等	388	80
賞与引当金	332	219
役員賞与引当金	35	－
その他	2,491	2,464
流動負債合計	23,363	25,179
固定負債		
長期借入金	2,862	2,605
退職給付引当金	338	352
債務保証損失引当金	－	28
資産除去債務	159	159
負ののれん	218	196
その他	1,653	1,661
固定負債合計	5,232	5,004
負債合計	28,595	30,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	26,918	26,743
自己株式	△314	△322
株主資本合計	31,652	31,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225	249
繰延ヘッジ損益	△63	△176
その他の包括利益累計額合計	161	73
純資産合計	31,814	31,543
負債純資産合計	60,409	61,728

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	30,378	33,596
売上原価	27,515	30,451
売上総利益	2,862	3,144
販売費及び一般管理費		
運賃	573	621
飼料価格安定基金負担金	610	591
賞与引当金繰入額	120	149
貸倒引当金繰入額	60	158
のれん償却額	－	31
その他	1,079	1,258
販売費及び一般管理費合計	2,444	2,811
営業利益	418	333
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	35	27
保管料収入	45	10
負ののれん償却額	22	22
持分法による投資利益	－	5
その他	24	32
営業外収益合計	134	104
営業外費用		
支払利息	26	25
貸倒引当金繰入額	32	－
債務保証損失引当金繰入額	－	28
保管料原価	40	8
その他	5	4
営業外費用合計	104	67
経常利益	448	370
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	40	－
受取保険金	－	2
特別利益合計	40	3
特別損失		
固定資産除売却損	2	30
投資有価証券評価損	－	6
ゴルフ会員権評価損	－	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	137	－
特別損失合計	140	38
税金等調整前四半期純利益	348	334
法人税、住民税及び事業税	45	78
法人税等調整額	89	56
法人税等合計	134	135
少数株主損益調整前四半期純利益	213	199
四半期純利益	213	199

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	213	199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142	24
繰延ヘッジ損益	△156	△112
その他の包括利益合計	△298	△88
四半期包括利益	△85	111
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85	111

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及び販売市場の類似性に基づいて事業部門を置き、各事業部門で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・販売市場別のセグメントから構成されており、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の３つを報告セグメントとしております。

「飼料」は、畜産飼料等を製造販売しております。「コンシューマー・プロダクツ」は、消費者向けの畜産物、ペットフードを製造販売しております。「不動産賃貸」は、倉庫等の賃貸を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	飼料	コンシューマー・プロダクツ	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,407	3,558	106	29,072	1,306	30,378	－	30,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	119	0	－	119	2	121	△121	－
計	25,526	3,558	106	29,191	1,308	30,500	△121	30,378
セグメント利益	242	103	75	422	124	546	△198	348

（注）１　「その他」のセグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△198百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△254百万円が含まれております。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

４　報告セグメントの変更等に関する事項

平成22年８月より組織を見直したため、「コンシューマー・プロダクツ」の内容を変更しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及び販売市場の類似性に基づいて事業部門を置き、各事業部門で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・販売市場別のセグメントから構成されており、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の３つを報告セグメントとしております。

「飼料」は、畜産飼料等を製造販売しております。「コンシューマー・プロダクツ」は、消費者向けの畜産物、ペットフードを製造販売しております。「不動産賃貸」は、倉庫等の賃貸を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	飼料	コンシューマー・プロダクツ	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,391	3,700	106	32,197	1,398	33,596	－	33,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	149	0	－	149	6	156	△156	－
計	28,541	3,700	106	32,347	1,405	33,752	△156	33,596
セグメント利益	199	67	75	342	61	404	△69	334

（注）１　「その他」のセグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△69百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円、金融収支259百万円が含まれております。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。